



劇団ここから屋

Vol.5 朗読劇「栄子姫異伝 —水口岡山城城主の妻—」



公演終了後

### 公演チラシ

栄子姫 異伝  
—水口岡山城城主の妻—

朗読劇

劇団  
ここから屋

水口の歴史を、朗読劇に。

料金 大人 1000円  
高校生以下 500円  
未成年児 無料

公演 総来場—冊

日時 2024.2月6日(土) 14:00開演 14:30開演  
(18時締切 約50分)

今から400年以上前のこと、水口に栄子姫という女性がいた—

後援—甲賀市、甲賀市教育委員会

### 概要

劇団ここから屋は、甲賀市を中心に活動しているユニット制劇団です。「ユニット制」というのは、公演参加者が毎回変わるシステムのことを言います。

コロナ禍で2年ほど活動できていませんでしたが、今年は助成金の後押しもあって公演を打つことにしました。今回は、出演者・スタッフ合わせて13人が集まりました。

題材は「栄子姫」。甲賀市水口町にあった岡山城に住んでいたお姫様です。関ヶ原の戦いの後、岡山城は攻め落とされてしまいます。栄子姫も、身重の身体で逃げ出し、逃げ抜いた先で男児を産みました。その子が作ったお寺が今でも水口町にあります。

コロナ禍下ということで、役者通しが向かい合わない「朗読劇」という形を取りました。劇団ここから屋にとって初めてとなる、新しい演劇の形に挑戦することができました。



## 劇団ここから屋

### Vol.5 朗読劇「栄子姫異伝 —水口岡山城城主の妻—」



時は現代。

女子大生のハルカ、ユーナ、ヒナコ、チヒロが、課題のレポートについて話している。ハルカはレポートの存在をすっかり忘れていた。レポートのテーマは「地元にはゆかりのある人物について。ハルカは祖父から、かつてこの地で住んでいたという「栄子姫」の話を聞くことにする。



時は遡って戦国時代。

栄子姫は愛知県生まれで、本多忠勝の妹。天真爛漫な性格で、今日も侍女のとよを振り回している。栄子姫は、松の木から降りられなくなってしまった子猫を助け、「マツ」と名付ける。

ある日、兄の忠勝がやってきて、栄子姫の結婚相手が決まったと告げる。相手は、敵方の武将、長束正家である。



一方正家は、武士でありながら算術が好きな人物である。豊臣秀吉の財政管理を任されていたが、ある日秀吉から、「栄子姫と結婚するように」と言われる。豊臣の部下である正家と、徳川の部下の妹である栄子姫を結婚させることで、豊臣と徳川は和睦を結ぼうとしたのである。



## 劇団ここから屋

### Vol.5 朗読劇「栄子姫異伝 —水口岡山城城主の妻—」



言われた通りに結婚する栄子姫と正家。夫婦として暮らす中で、少しずつ仲が良くなっていく。刀ではなく算盤を持って算術ばかりしている正家の話を聞いて、栄子姫は「算術とは生きることなのですね」と言う。栄子姫が理解してくれたことをきっかけに、二人の距離はどんどん縮まっていく。



二人は甲賀市水口町にやって来る。正家が、水口岡山城の城主に任命されたのだ。猫のマツや侍女のともよも一緒である。

水口町には「かんびょう」というものがあり、栄子姫の提案で正家は町の人々にかんびょうを励んで作るよう命令する。



秀吉が死に、家康が天下を取ろうとする。正家は家康を暗殺しようとするが失敗に終わる。

そして、天下分け目の関ヶ原。豊臣方についていた正家は敗北し、城も攻めこまれてしまう。正家は栄子姫を逃がすために、おとりになる。正家に諭され、栄子姫は生き延びる決意をする。



## 劇団ここから屋

### Vol.5 朗読劇「栄子姫異伝 —水口岡山城城主の妻—」



栄子姫は猫のマツに逃げるよう言うてから、自分も侍女のとよと一緒に逃げる。しかし、途中で追っ手に見つかりそうになり、侍女のとよが身代わりに死ぬ。独りぼっちになってしまった栄子姫は、もうこれ以上生き延びるのは無理だと思い、川に身を投げようとする。



そこに、猫のマツがやってくる。マツから生きる力を得た栄子姫は、かつての家臣の家に辿り着き、匿ってもらう。栄子姫は男児を産むが、産後の肥立ちが悪くまもなく死んでしまう。猫のマツは「栄子姫様、息子君のことは任せてね。僕が守るからね。僕の名前マツって『待つ』って意味もあるんでしょ？ 栄子姫様のことをずっと待ってるからね」と、返事のない栄子姫に話かける。



そして現代、2022年2月5日。栄子姫を祀る塚の前に、1人の女性と1人の男性がそれぞれやってくる。お互い、初対面の気がしない。名前を聞くと、女性は「栄子」、男性は「正家」という名だった。2人は同時に、「あのっ、どこかで会ったことはありませんか!？」と尋ねる。遠くから、猫の鳴き声が聞こえる。

※全ての台詞が終わってから、無言のまま顔を見合わせている。